

平成29年度 第2回国際委員会議事録

日時：平成29年7月13日(木)

場所：TKP 新宿会議室 5A 7:00～8:00

出席：(担当理事) 中村 雅也

(委員長) 松山 幸弘

(委員) 小澤 浩司、波呂 浩孝、種市 洋、宮腰 尚久、  
酒井 大輔

欠席：川口 善治、加藤 慎介、石井 賢、千葉 一裕 (敬称略)

1. 担当理事から委員会への報告事項、検討依頼事項

JSSR 2017における海外招待演者の選定について。

2. 委員会から理事会への審議依頼事項

JSSR 会員へのメール一斉配信(Bcc)について。

3. 委員会内部討議事項

1) JSSR 2018における海外招待演者の選定

昨年の実績から台湾、韓国は各々の2018年度学会長を招聘する。各学会長に夫々1名の演者を推薦してもらい出席、発表していただくこととした。

小澤委員よりタイへのフェローシップをお願いした、チェンマイ大学、ラマティボディ病院から2名の推薦があった。

酒井委員より連絡を取っているオーストラリア脊椎外科学会会長 Michael Johnson の招聘の推薦があった。

以上、7名を招聘することが決定した。

2) JSSR2018での国際化推進に向けて

JSSR2017のEnglish Presentation Award(EPA)は応募者が全員日本人という結果に終わった反省から、今回もEPAは企画するが、周知を早めに関連海外団体と連携して行うこととした。その一環としてAPSS 鑑会長と連絡を取り、e-news letterを相互配信する協力を取り付けた。またNASSや韓国、台湾、オーストラリアの各学会会長にも依頼し、配信していただくこととした。

JSSR2017では国際委員会招聘演者5名の所属施設から数名の演者に応募してもらい、演者一人あたり5万円の補助を学会から支給する事も

試行したが、成果は挙がらなかった為、2018 では廃止とした。

JSSR2018 での EPA は日本国籍を持たない海外演者のみとし、募集段階では人数を定めないこととし、募集状況を見ながら何名採択するかを検討する。

JSSR2018 での EPA 実現に向けプログラムに 1 会場 1 日終日 English session とする事を中村博亮会長に依頼する。今後の国際委員会には中村博亮会長の代理として大阪市大よりどなたかにご出席いただく。

3) 2018 年台湾からのフェロー受け入れ施設の決定について

2018JSSR-台湾トラベリングフェロー（受け入れ）を台湾脊椎外科学会より受け入れる。国際委員会委員のいる施設が望ましく、検討の結果、慶應義塾大学（中村理事）と獨協医科大学（種市委員）が受け入れることに決定した。2016 年に習い、受け入れフェローの滞在費について、基本的に旅費は TAIWAN SPINE SOCIETY が負担し、訪問先での食費、その他受け入れ施設に対し学会より支援金を拠出することが確認された。金額は日整会が AOA トラベリングフェロー来日時に支給しているフェロー 1 名あたり 1 日 7000 円に準ずることとした。日台連携強化の目的で 2017 年 11 月には中村理事並びに松山委員長が台湾を表敬訪問することが伝えられた。

4) Spine Across the Sea 2018 準備状況報告

波呂委員より SAS2018 の準備状況が堅調に進んでいることが伝えられた。日程は 2018 年 7 月 29 日～8 月 2 日、カウワイ島マリオットで開催される。NASS 側のプログラムチェアマンは Dr. Savage との報告がなされた。

5) JSSR 会員に対する各種情報配信の方法について

APSS の e-new letter 相互協力において先方との約束で JSSR 会員へ周知する必要もあることから、JSSR 会員へメール一斉送信を Bcc で事務局から送信することに関して理事会に問うことが検討された。

4. 継続議題

（なし）

5. 次回委員会日程については追って事務局より連絡することとした。

以上